

三石勝五郎

むかし
むかし

詩人。明治二十一年十一月二十五日長野縣生肌、

昭和五十一年八月十九日没（二六六一一九七）。筆名三石孤帆。大正三年

早稻田大學文學部英文科卒。新聞・雜誌記者を經て、曲田大香の「燈園

」に入り、托鉢行脚等に當ると、のち郷里に歸農。

著書『散華樂』（大正十一年四月十七日新潮社）、『火山灰』（大正

十二年）二月八日新潮社）、『攝政宮
行啓地』『信濃駒淵流山』（昭和四十五年四

月一日美術年鑑社）等。